

OPEN ACCOUNT

アジア開発銀行総会福岡NGOフォーラム ニュースレター
Vol. 1 November 1996

— 御挨拶 —

アジア開発銀行(ADB)は、アジア・太平洋地域の開発途上国への資金貸付と技術援助を行う多国間開発銀行で、同地域の経済発展・工業化のための様々な取り組みに、多くの資金を拠出してきました。近年では、社会発展・基本的ニーズや関連部門への融資も強化する方針を打ち出しています。しかし、ADBのとする経済成長や自由主義開放市場の推進という基本的な方向性が、貧富格差の拡大などの歪みをもたらしていることも指摘されています。また、個別プロジェクトの実施にあたって、地域住民の基本的人権が侵害されたり、生活環境が破壊されたりする結果がもたらされています。

このような現状に対処しようと、1989年の北京総会以降、NGO(国際協力市民団体)がADBに対する働きかけを開始し、ADBの活動に大きな影響を受ける人々の声を反映させようと努力してきました。ADBも、87年に「NGOとの協力関係」という政策を打ち出し、年次総会などの場で積極的にNGOとの対話を行ってきました。こうして、NGOの提言のもとに、ADBは「環境ガイドライン」を策定したり、全融資の50%を社会開発・環境セクターに配分する方針を打ち出したりしています。

私たちは、来年のADB福岡総会に対して、これまでアジア・太平洋地域を中心とするNGOが積み上げてきた成果を生かしながら、積極的にかかわりたいと考え、今年7月29日に、「アジア開発銀行総会NGOフォーラム実行委員会」(「ADB-NGOフォーラム実行委」)を発足させました。ADB-NGOフォーラム実行委の場では、次のような課題を考えていきたいと思えます。

- 1) ADB関連プロジェクトのアジア・太平洋地域への影響
- 2) 工業先進国の開発途上国に対する援助のあり方
- 3) 国際援助への市民の参加
- 4) アジア・太平洋地域の開発における日本の役割
- 5) 開発の人権(特に女性、先住民などのマイノリティーの人権)や環境に対する影響
- 6) 多国間金融期間の役割
- 7) 南北格差を生み出す経済構造と私たち自身の生活のあり方の見直し

また、ADB福岡総会に向けて、次のような活動を行いたいと思えます。

- 1) アジア・太平洋地域のNGOの活動への補助と参加
- 2) 総会前段階での学習会や講演会
- 3) 総会会期周辺での市民集會
- 4) 総会会期中のADBスタッフとの会合
- 5) 福岡外のNGOとの連絡・調整

現在、ADB-NGOフォーラム実行委では、市民のみなさんの参加を求めるとともに、賛同金を集めています。私たちの活動の趣旨を理解していただき、ぜひとも私たちの活動に協力して下さい。

アジア開発銀行総会NGOフォーラム実行委員会

シリーズ：アジア開発銀行とは...

第1回 イントロダクション

～ADBの概要とNGOの取り組み～

来年5月11日から13日の間、福岡市のシーホークでアジア開発銀行（ADB）総会が開催されることとなった。NGOも1989年以来ADBに対して、NGO・民衆組織の視点からADBに対する政策提言・働きかけなどを行っている。福岡総会に当たっても関係諸国からNGOが集まり、NGOフォーラムの開催や、ADBに対する提言書の提出、要請行動などを行うこととなる。私たち「アジア開発銀行総会NGOフォーラム実行委員会」も開催地のNGOとして、国際的なNGOの活動をサポートし、また地元市民の立場からADBの問題を考えるために結成された。この連載ではADBの活動について紹介して行くが、今回はADBとNGOの取り組みの概要をまとめる。

ADBとは？

ADBは1966年に設立され、本部はマニラにおかれている。現在の加盟国数は56（うちアジア太平洋諸国は40）である。アジア太平洋地域の途上国における開発プロジェクトに対する資金貸付を中心に、開発プロジェクト・プログラムに関するコンサルティングや、開発政策に関する政策調整なども行う。1993年には77のプロジェクトに約52億ドルの資金を供与した。

日本はADBの発足以来、中心的役割を演じ、常に最大の出資国（約16%を出資）であり、また歴代総裁は日本人である。ADBの投票権は出資比率に応じているため、日本は最大の投票権を持っていることとなる。

アジア太平洋地域は近年急速な工業化・経済成長を遂げ、ADBのそれに対する貢

献も評価されている。しかし一方で、他の多国間国際開発金融機関（世界銀行など）と同様に、ADBも基本的に工業化と自由貿易市場の拡大を通じて経済成長を促進するという「伝統的な」開発パラダイムにもとづいて運営され、貧富格差の拡大、環境破壊などを進めているとの批判もある。またADBが融資するプロジェクトの中には、地域住民の強制移転など、環境・生活破壊を引き起こしているものもある。最近ではADBもこうした批判に対応して、全融資の50%を社会開発部門に配分することや、環境ガイドラインを策定するなどの取り組みを行っている。

NGOの取り組み

国際的に開発NGOは最近では「現場」でのプロジェクト実施のみならず、政府機関や国際機関などに対する政策提言・働きかけの活動（アドボカシー）を重視するようになってきている。80年代終わりよりNGOはADBに対する関心も深め、1989年の北京総会以来、総会開催に合わせ、NGOも政策提言を行うとともに、ADB総裁との会合も行われている。このNGOキャンペーンはマニラに本部を置くアジア農地改革農村開発NGO連合（ANGOC）を中心に行われてきている。NGOキャンペーンを通じてNGOは、成長重視から平等重視への転換、環境の重視、ADBの情報公開の促進と透明性の向上などを要求してきた。ADBに対するNGOキャンペーンの参加団体は年々増加し、89年の北京総会では4団体であったのが、最近では50団体近くにもなっている。来年の福岡総会でもそれだけの数のNGOの参加が見込まれる。

次回以降ADBの資金配分や様々な政策を検討したい。
(高柳彰夫)

マニラ日記

原由利子

マニラ滞在の最終日、NGOワーキンググループの中心者Bethが、ご夫妻で市内散策に付き合っ下さり、“人々の、庶民のReal life に触れたい”との希望をこの上なく叶えさせて下さった。市街地で見え立つ数々の建設中の建物、世界最大級のショッピングセンター“メガモール”とは対照的に、汚染された川、路地にひしめき合っ生活する人々、貧困等々、開発の光と影を、“真の開発とは”と考えざるを得ない状況を目の当たりにした。そして最も忘れられないのは、市郊外へと真っ直ぐに向かう電車(庶民の足)でのショートトリップ。切符を買ってプラットフォームにでて思わず息を飲んだのは、駅と家の境がない状態で目の前で人々が生活している事。電車に乗り込み片道1時間の旅がはじまる。開いたままのドアのそばから目を外に移せば、次々に目に飛び込んでくるのは人々の生きた生活。野菜や魚が電車スレスレに飛び出して来た時には目を疑った。“なに？”青空市場である。“ぶつかる



マニラの子供たち



NGOワーキンググループのメンバーとともに

のでは？子供がひかれるのでは？”との素朴な疑問も吹き飛ばす程の勢い。Bethになぜ、皆線路脇で生活しているのかを問うと、ただで住めるからとの答え。フィリピンでどれ位の方々がこういう生活をとの問いには、住みかたは違っても人口の3割位はこの位の生活水準と…。豪華なADBの建物の中で国際会議にだけ参加して帰っていれば、何も知らないままフィリピンという国を見たに違いない。それにしてもそこで生活している子供達の笑顔がいい事！ファインダーを向けるのをためらっていた私にピースで応えてくれる子供達。シャッターをきるとそこには屈託のない笑顔が。生命の逞しさ、健全さを感じた。幼稚園児にして、疲れた疲れたと口にせねばならぬ程、ある意味で精神的に貧しくなってしまうどこかの国を思い、マザーテレサ女史の言葉を思い出した。彼女が日本を発つ時の言葉である。「世界中で最も飢えている国が2つある。1つはアフリカ。これは物質的に。そしてもう1つは日本。それは精神的に。」“官僚主義の弊害を象徴的に物語る、お上(大蔵省)によるADB総会用通行許可証発行拒否事件？”をはじめ、自国の現状を省みざるを得ない事が多かった今春マニラの研修(?)の旅。本当の意味で支援が必要なのは日本かもしれない？

編集後記

ニューズレター創刊号はいかがでしたか？

私たちは、これから来年5月のアジア開発銀行福岡総会に市民の側から参加することを目的として様々な活動を行っていく予定です。

まず12月1日(日)14時から「ももちパレス」3階小ホール(地下鉄藤崎駅隣)にて「ADB ちゃなんね！」と題して講演会&パネルディスカッションを開催します。当日は関東や関西のNGOも参加して、幅広くADBについて考えていきたいと思っています。参

加費は500円です。ぜひみなさんご参加下さい。また、当日参加できない方や遠方の方向けに、ADB やアジア開発銀行総会福岡 NGO フォーラムについての情報が届くように、現在ホームページを準備中です。アドレスなどは後日お知らせします。

さらに海外や日本各地の様々なNGOとネットワークを作り、来年5月には彼らとの交流会や講演会を企画しています。

ぜひ、皆さんもこの「アジア開発銀行総会福岡 NGO フォーラム」に加わって、アジアにおける「開発」「援助」「ジェンダー」「先住民」などのテーマについて考えそして行動してみませんか？

お知らせ

講演とパネルディスカッション

ADB ちゃなんね？

日時： 1996年12月1日(日)
場所： ももちパレス3階小ホール(地下鉄藤崎駅隣)
参加費： 500円
主催： ADB総会福岡NGOフォーラム実行委員会

“Open Account”とは？

英語の「アカウント」には、「銀行口座」と「説明」という二つの意味があります。「説明」の意味の「アカウント」は、最近よく聞かれる「アカウントビリティ」(説明責任)という用語の一部でもあります。「オープン・アカウント」とは、ADBが銀行であることから「口座を開く」という意味と、「ADBの活動を市民に対して分かりやすく説明し、情報の公開を求めていく」という意味がこめられている「かけ言葉」です。『オープン・アカウント』がADBの活動や福岡総会の透明性を高める場であればと願ってやみません。

※お問い合わせは、下記までお気軽にどうぞ！

アジア開発銀行総会福岡 NGO フォーラム事務局

〒818-01 太宰府市観世音寺 1-17-27-206

Tel(Fax) 092-921-5845

e-mail kazz@ga2.so-net.or.jp

※また、カンパもお願いしています。

郵便振替で

口座番号 01760-5-50007

加入者名 ADB 総会福岡 NGO フォーラム

です。よろしくお願ひします。

12月1日、ももちパレスでお会いしましょう！！

OPEN ACCOUNT 11月号 / Vol.1 / 編集 高山義浩
発行 アジア開発銀行総会福岡 NGO フォーラム